

# 令和6年度前橋市自立支援協議会活動報告

## 1 全体会

No.	日付	会議内容
第1回	R6.4.30	1 前橋市自立支援協議会の役割と組織について 2 令和5年度活動報告について 3 令和6年度活動計画(案)について 4 第7期前橋市障害福祉計画及び第3期前橋市障害児福祉計画の策定について 5 前橋市社会福祉協議会からの事業案内

## 2 運営調整会議

No.	日付	会議内容
第1回	R6.4.10	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(3月)について 2 令和6年度全体会について
第2回	R6.6.12	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(5月)について 2 令和6年度日中サービス支援型共同生活援助の評価について 3 発達障害地域支援マネジャー派遣事業希望調査について
第3回	R6.7.10 (書面開催)	1 定例会議・専門部会等の活動報告(6月)について 2 令和6年度日中サービス支援型共同生活援助の評価スケジュールの共有
第4回	R6.8.14	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(7月)について 2 令和6年度第1回群馬県障害者自立支援協議会打ち合わせ会議の報告等 3 令和7年度前橋市自立支援協議会委員改選等について
第5回	R6.9.11 (書面開催)	1 令和6年度日中サービス支援型共同生活援助の評価スケジュールの共有
第6回	R6.10.9	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(9月)について
第7回	R6.11.13	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(10月)について 2 自立支援協議会への委託相談支援事業所の関わり令和7~8年度(案)について
第8回	R6.12.11	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(11月)について 2 令和7年度前橋市自立支援協議会組織体制及び委員の改選について
第9回	R7.1.8 (書面開催)	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(12月)について
第10回	R7.2.12	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(1月)について 2 令和7年度前橋市自立支援協議会組織体制及び委員の改選について 3 令和6年度第2回群馬県障害者自立支援協議会の打ち合わせ会議提出資料について 4 令和7年度自立支援協議会全体会の開催日程について
第11回	R7.3.12 (書面開催)	1 定例会議・部会・ワーキンググループ活動報告(2月)について 2 令和6年度第2回群馬県障害者自立支援協議会打ち合わせ会議の会議概要について

### 3 定例会議

#### (1) テーマ・議題

相談事例の検討により抽出した地域課題の解決策を検討する。

#### (2) 活動内容

No.	日付	会議内容
第1回	R6.5.8	1 定例会議について 2 本市の地域課題について～事業所の質の向上と、終了後のフォローアップ体制～
第2回	R6.7.10	1 報告事項 専門部会からの報告、前回定例会議議題の報告(就労定着支援の利用後の効果について) 2 地域課題の検討～既存資源の有効活用に向けた障害特性の理解と工夫～
第3回	R6.9.11	1 報告事項 専門部会からの報告 2 地域課題の検討～困り感のない方たちへのアプローチと、周囲の関係者とのつながり方～
第4回	R6.11.13	1 報告事項 専門部会からの報告 2 地域課題の検討～教育、福祉、雇用との役割分担～
第5回	R7.1.8	1 報告事項 専門部会からの報告 2 地域課題の検討～こどもの福祉と保護者の就業保障～
第6回	R7.3.12	1 報告事項 専門部会からの報告 2 令和6年度活動報告案について 3 令和7年度活動計画案について 4 地域課題の検討～前橋市における社会資源の現状と今後の方策～

#### (3) 協議結果・実施結果

相談事例の検討により抽出した本市の6つの地域課題について、各回一つずつ協議し解決策を検討した。障害特性だけでなく、現代社会において多様化する様々なニーズに対し、支援者側もそれに応じた柔軟な対応が求められている実情を確認した。自立支援協議会アドバイザーからは国県や県内他市町村の状況等の助言をいただいた。また、事例を通して関わり方や社会資源等、今後の支援にあたり多くの情報を共有した。地域課題の内容により、各専門部会においても引き続き検討を依頼した。

#### (4) 今後の課題・予定

相談事例の検討により抽出した地域課題の解決策を検討する。

## 4 専門部会

### (1)地域生活支援拠点部会

#### ア テーマ・議題

地域生活支援拠点(安心ネットまえばし)の機能の充実を図るための検証及び検討を行う。

#### イ 活動内容

No.	日付	会議内容
1 部会		
第1回	R6.9.17	1 ワーキンググループ1(相談)の結果報告について 2 指定相談支援事業所向けの研修会実施について 3 安心ネットまえばし利用登録者の状況について
第2回	R7.2.18	1 ワーキンググループ1(相談)の結果報告について 2 安心ネットまえばし緊急時対応シートの作成状況について 3 令和6年度活動報告(案)について 4 令和7年度活動計画(案)について
2 ワーキンググループ1(相談)		
第1回	R6.6.18	1 安心ネットまえばしの3年間を振り返って
第2回	R6.7.16	1 事前登録者用チラシの修正案について 2 事前登録要件見直し後の効果について 3 相談支援専門員向け研修会について
第3回	R7.1.22	1 事前登録要件の見直しについて 2 前橋市地域生活支援拠点(相談機能)の体制について

#### ウ 協議結果・実施結果

部会では、安心ネットまえばしにおける相談機能、緊急時の受入れ・対応の機能についての検証・検討、指定相談支援事業所向けの研修会実施について、及び次年度の課題についての協議を2回実施した。  
具体的な各機能の検討については、相談機能について、ワーキンググループ1(相談)を3回実施し、事前登録者用チラシの見直し、相談支援専門員向け研修会の検討、相談機能体制の見直しを行った。  
緊急時の受入れ・対応の機能について、利用登録者の個別緊急時対応シート作成に係る打合せ会議内容を共有し、課題や改善点などの意見を伺った。

#### エ 今後の課題・予定

前橋市地域生活支援拠点(安心ネットまえばし)の機能の充実を図るため、検証及び検討を行う。

## (2)就労支援部会

### ア テーマ・議題

令和5年度に作成した相談先フローチャートや企業視察結果などを活用し、障害者雇用の啓発活動の継続と新たな雇用促進の場の開拓等を行っていく。

### イ 活動内容

No.	日付	会議内容
<b>1 部会</b>		
第1回	R6.5.15	1 前橋市自立支援協議会・就労支援部会について 2 令和5年度までの主な取り組み状況 3 令和6年度の取り組みについて
第2回	R6.6.21	1 WG組織案について 2 WGでの協議事項について
第3回	R6.7.19	1 各WGでの活動 2 WG活動報告
第4回	R6.9.19	1 各WGでの活動 2 WG活動報告
第5回	R6.10.17	1 各WGでの活動 2 WG活動報告
第6回	R6.11.21	1 各WGでの活動 2 WG活動報告
第7回	R6.12.19	1 各WGでの活動 2 WG活動報告
第8回	R7.2.19	1 各WGでの活動 2 WG活動報告
第9回	R7.3.19	1 令和6年度の各WG活動報告 2 令和7年度の活動方針について
<b>2 ハローワーク前橋主催就職面接・個別相談会へのブース出展</b>		
	日時	令和6年9月27日(金)午後1時から
	場所	日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア
	参加者	企業等37事業所、求職者141名
	内容	就労支援部会として「みつけブース」を設置し、相談先フローチャートを活用しながら、事業者及び求職者へ支援機関の周知等を行った。
<b>3 前橋商工会議所メールマガジンでの記事配信</b>		
	R6.9.21	短い時間でも障害者雇用率へのカウントが可能になりました
	R6.10.11	障害者就職面接会にブースを出展しました
	R6.10.21	障害の種類と障害のある方が活躍する為の企業配慮とは？
	R6.11.21	障害のある若者の就業体験実習の受入れにご協力ください
	R6.12.21	障害者雇用にお悩みの企業様向けの相談窓口があります
	R7.1.21	生活に困っている方の職場見学や雇入れにご協力ください
	R7.3.11	事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」が義務化されました
	R7.3.21	障害者雇用の先進企業のご紹介
<b>4 先進企業の視察</b>		
	R6.11.20	はッピーすまいる。
	R7.1.16	株式会社スワン 日本理化学工業株式会社

#### ウ 協議結果・実施結果

前年度に引き続き、3つのWGに分かれ、障害者雇用の促進に向けて様々なアプローチで活動を行った。みっけブース準備WGでは、ハローワーク前橋主催の障害者就職面接会に「みっけブース」を出展し、過去の活動で作成した相談先フローチャート「企業向け障害者雇用相談先みっけチャート」を活用しながら、事業者及び求職者へ支援機関の周知等を行った。

就労支援広報WGにおいては、前年度に引き続き、前橋商工会議所メールマガジンに依頼し、障害者雇用に関する様々な情報発信を行った。また、前橋市ホームページに過去の記事の掲載やアンケートの設置を行っている。

自立研究WGでは、障害者雇用の先進企業として、株式会社スワン(ヤマトホールディングス株式会社特例子会社)及び日本理化学工業株式会社の視察を行い、その結果については市ホームページ及び商工会議所メールマガジンにて紹介をした。また、分身ロボット「オリヒメ」を活用し障害者雇用を行っている市内の飲食店「はっぴーすまいる。」を訪ねオリヒメ導入の経緯や当事者の働き方等について話を伺った。

#### エ 今後の課題・予定

令和7年度はWGを再編成し活動を継続する。これまでの活動の成果物を活用し、企業側だけでなく求職者側の視点からも障害者雇用について考え、継続して啓発活動を行っていく。

### (3)こども部会

#### ア テーマ・議題

- 1 前橋市療育ネットワーク推進会議の内容検討及び開催  
(研修会の開催に向け、講師、対象やグループワークなどの組み込みなど構成を考える)
- 2 医療的ケア児等支援連携推進会議の開催

#### イ 活動内容

No.	日付	会議内容
第1回	R6.5.16	1. 前橋市療育ネットワーク推進会議の内容検討 (地域における課題について共有) 2. 医療的ケア児等支援連携推進会議について (医療的ケア児等コーディネーター新規取得者について、地域課題について)
第2回	R6.6.20	1. 第1回医療的ケア児等支援連携推進会議 (構成員顔合わせ、現状把握) 2. 前橋市療育ネットワーク推進会議の内容検討 (会場や日程、対象者を決定)
第3回	R6.7.18	1. 令和6年度こども部会について 2. 前橋市療育ネットワーク推進会議(情報交換会)について (開催までのスケジュール確認、対象への周知方法や構成について)
第4回	R6.9.19	1. 前橋市療育ネットワーク推進会議 情報交換会について (参加者申し込み方法、講話部分やグループトークでの構成について) 2. 第2回医療的ケア児等支援連携推進会議について
第5回	R6.10.17	1. 第2回医療的ケア児等支援連携推進会議 (やっほからの情報提供、情報共有) 2. 前橋市療育ネットワーク推進会議(情報交換会)について
第6回	R6.11.18	前橋市療育ネットワーク推進会議 情報交換会の開催 「発達が気になる子への支援について話そう」 ～日々の保育の中で発達が気になる子への支援で悩むこと、 わからないこと、疑問に思うこと、知りたいことなど、一緒にお話してみませんか～
第7回	R6.12.19	1. 前橋市療育ネットワーク推進会議 情報交換会まとめ 2. 第3回医療的ケア児等支援連携推進会議について
第8回	R7.1.16	1. 第3回医療的ケア児等支援連携推進会議 (状況報告・令和7年度の活動方針について)
第9回	R7.2.20	1. 令和6年度活動報告について 2. 令和7年度活動方針について

## ウ 協議結果・実施結果

1: 第1回こども部会にて部会員から抽出された課題に対し、R6年11月18日に「前橋市療育ネットワーク推進会議 情報交換会」を開催した。「発達が気になる子への支援について話そう」というテーマのもと、市内の発達支援事業所・保育園所・相談支援事業所・こども支援課保健師を対象に、42名が参加。実際の現場で困った際に利用することのできる、こども支援課のコンサルテーションや、こども施設課の巡回相談、児童発達支援事業所の保育所等訪問支援の利用方法や目的について理解を深め、まえばし幼稚園での対応事例について共有した。その後各グループにて、テーマに応じて情報交換を実施した。参加者からは、日頃子どもへの対応で悩んでいることなど共有できて良かった、こういった情報交換できる場所を求めているという声が聞かれた。こども部会としては次年度以降も情報共有や連携を図るための機会や方法を考えていく予定となっている。

2: 年3回の医療的ケア児等支援連携推進会議の開催した。市内の事業所に在籍する医療的ケア児等コーディネーター、こども部会員、こども支援課、こども施設課、教育支援課の構成員、群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ」の職員にて情報共有等を行った。年度毎に医療的ケア児等コーディネーターを新たに取得した方に構成員として加わってもらっている。令和7年度は、こども施設課や教育支援課のガイドライン策定を始め、災害時の対応について、新たに保健予防課にも構成員として加わってもらい考えていく予定となっている。

## エ 今後の課題・予定

### ★療育のシステムづくり

- ・前橋市療育ネットワーク推進会議の内容検討及び開催  
(事業所や保育園所等が情報共有をしたり、連携を図るための方法を考える)
- ・医療的ケア児等支援連携推進会議の開催  
(災害時の対応について考える)

## (4) 地域移行・地域定着部会

### ア テーマ・議題

- ・グループホームの質の均一化
- ・民生委員児童委員を対象としたピアサポーター研修の検討実施

### イ 活動内容

No.	日付	会議内容
<b>1 部会</b>		
第1回	R6.5.21	1. 地域移行・地域定着支援について 2. グループホームの質の均一化について(ワーキング検討状況共有) 3. 民生委員児童委員にむけたピアサポーター研修の実施について
第2回	R6.7.16	1. 地域移行・地域定着支援について 2. グループホームの質の均一化について(ワーキング検討状況共有) 3. 民生委員児童委員にむけたピアサポーター研修の実施について
第3回	R6.9.17	1. 地域移行・地域定着支援について 2. グループホームの質の均一化について(ハンドブック最終確認) 3. 民生委員児童委員にむけたピアサポーター研修の実施について
第4回	R6.11.19	1. 地域移行・地域定着支援について 2. グループホームの質の均一化について(各研修振り返り) 3. 民生委員児童委員にむけたピアサポーター研修の実施について
第5回	R7.1.21	1. 地域移行・地域定着支援について 2. グループホームの質の均一化について(各研修振り返り) 3. 民生委員児童委員にむけたピアサポーター研修の実施について
第6回	R7.3.18	1. 地域移行・地域定着支援について 2. 来年度の活動内容について(各研修等について検討)
<hr/>		
<b>2 研修</b>		
関係職員研修	R6.9.5	市内グループホームに所属する支援者を対象とした研修会を実施。主に支援のあり方や考え方に関する講義、支援者間の情報交換を含めたグループワークを実施した。
関係職員研修	R6.11.14	市内グループホームに所属する支援者を対象とした研修会を実施。主に支援のあり方や考え方に関する講義、支援者間の情報交換を含めたグループワークを実施した。
ピアサポーター研修(民生委員児童委員会長会)	R6.12.10	民生委員児童委員の各地区の会長を対象に、ピアサポーターにリカバリーストーリーを語ってもらうことで、精神疾患・精神障害について正しい知識や理解を深める研修会を実施した。
ピアサポーター研修(中川地区)	R7.2.20	民生委員児童委員を対象に、ピアサポーターにリカバリーストーリーを語ってもらうことで、精神疾患・精神障害について正しい知識や理解を深める研修会を実施した。

#### ウ 協議結果・実施結果

グループホームに所属する支援者の支援力向上のために、グループホーム職員を対象とした研修会を2回実施。参加者の感想やアンケート結果、過去に実施した研修会を含めたリピート率などから、グループホーム職員同士におけるグループワークや情報交換等を行う場の需要の高さがうかがえた。

民生委員児童委員に向けたピアサポーター研修を会長会及び市内1地区で実施。会長会実施後、自身の地区でも同様の研修を実施してほしい旨の声を複数地区の会長からいただき、年度内に1地区での実施に至った。他の地区については、年度明けに実施してほしい旨の声をいただいている。本研修については、にも包括におけるピアサポートの活用に係る事業においても、リカバリーストーリーを語れる新たなピアサポーターの開拓や活躍の場の確保などにも寄与した。

#### エ 今後の課題・予定

グループホーム職員を対象とした研修会について、支援者間の繋がりやネットワークの構築、困り感の共有など一定の効果は見受けられたが、本研修が目指す支援力向上という点において、本研修が支援における質・支援力の向上にどれほど寄与したのか測定することが難しく、効果の評価方法や指標の設定に課題があることが分かった。しかし、支援力・支援の質などの変化は短期的に見えづらく、長期的な変化や現場での実践状況等も確認する必要がある。即効性のある結果が出にくい領域であることから、研修後も定期的にアンケート調査を実施するなど、段階的に評価を積み重ねることで効果が見えやすくなると思われる。

ピアサポーター研修は令和7年度も引き続き実施予定。グループホーム職員を対象とした研修会については、対象者や研修そのもののあり方など協議を継続したい。

## (5) 手話施策検討部会

### ア テーマ・議題

前橋市手話施策推進方針に基づく令和6年度実施計画の推進について

### イ 活動内容

No.	日付	会議内容
■部会	第1回	R6.5.27 1 部会長の選出 2 前年度の実績報告と今後実施予定の施策について
■手話教室ワーキンググループ	第1回	R6.4.26 (1)前橋市職員手話研修会「聴覚障害者への救急対応研修」について ・カリキュラムの作成について
	第2回	R6.5.17 (1)前橋市職員手話研修会「聴覚障害者への救急対応研修」について ・カリキュラムの内容について
	第3回	R7.3.4 (1)今年度の振り返りと次年度への課題 (2)職員手話研修会(救急隊員向け) (3)次年度取り組むこと
■防災ワーキンググループ	第1回	R6.10.9 (1)聴覚障害者向けの防災マニュアル作成について ・日頃の備え ・避難場所の確認 ・備蓄品のチェック
	第2回	R6.11.2 (1)聴覚障害者向けの防災マニュアル作成について ・前回の振り返り ・共助と公助 ・情報収集 ・災害が起きたときの対応
	第3回	R6.12.9 (1)聴覚障害者向けの防災マニュアル作成について ・前回の振り返り ・聴覚障害者の意思表示 ・支援者へ向けて
	第4回	R7.1.15 (1)聴覚障害者向けの防災マニュアル作成について ・前回の振り返り
■おもてなしワーキンググループ	第1回	R6.6.24 (1)全国ろうあ者体育大会に向けて配布するコミュニケーションボードについて
	第2回	R6.7.8 (1)全国ろうあ者体育大会に向けて配布するコミュニケーションボードについて

### ウ 協議結果・実施結果

・救急隊員向けの手話研修会…群馬県で初めて「全国ろうあ者体育大会」が開催されるため、怪我や熱中症での救急搬送が想定され、研修及びコミュニケーションボードの内容を見直した。研修は、①5/31、②6/19、③6/21、④6/28の4日間開催した。

・防災ワーキンググループでは、聴覚障害者へ向けた防災マニュアルを作成した。マニュアルは、3/24～市HPで公開、前橋市聴覚障害者福祉協会の会員へは、協会経由で配布。会員以外には、障害福祉課及び市社協ボランティアセンターで配布。

・全国ろうあ者体育大会に向けて、飲食店・宿泊施設用のコミュニケーションボードを作成し、聴覚障害者の円滑なコミュニケーションの手助けと事業者に対する合理的配慮の周知に役立った。

・広報まえばしの「手話で話そう」の単語動画の作成し、アップロード(毎月)を開始した。

エ 今後の課題・予定

- ・救急隊員向け手話教室で、手話を中心としたステップアップコースを実施する。
- ・手話動画の作成について、計画的に進める。
- ・防災マニュアルの活用

## (6) 広報啓発部会

### ア テーマ・議題

- ①「みんなのらいふ」の定期発行
- ②障害福祉啓発事業「みんなのフェスタ」の開催

### イ 活動内容

No.	日付	会議内容
1 部会		
第1回	R6.5.9	1 広報啓発部会の役割について 2 令和6年度の活動について
第2回	R6.6.14	1 「みんなのらいふ」第36号の原稿について(内容協議) 2 「みんなのフェスタ」について
第3回	R6.7.12	1 「みんなのらいふ」第36号の原稿について(最終校正) 2 「みんなのフェスタ」について
第4回	R6.9.13	1 「みんなのフェスタ」について
第5回	R6.10.11	1 「みんなのフェスタ」について
第6回	R6.11.15	1 「みんなのらいふ」第37号の原稿について(内容協議) 2 「みんなのフェスタ」について
第7回	R7.1.17	1 「みんなのらいふ」第37号の原稿について(最終校正) 2 「みんなのフェスタ」の開催報告について 3 「みんなのフェスタ」アンケート結果について
第8回	R7.3.14	1 「みんなのらいふ」第38号の原稿について(内容協議) 2 令和6年度活動報告について(案)について 3 令和7年度活動計画(案)について
2 みんなのらいふ		
第35号	R6.5.15	発行
第36号	R6.9.1	発行
第37号	R7.2.1	発行
3 みんなのフェスタ		
令和6年12月14日(土)に前橋プラザ元気21にて、第13回みんなのフェスタを開催した。ステージ発表(手話コーラス、日本舞踊、和太鼓、剣舞、フラダンス)や作品展を実施したり、体験コーナー(手話、点字、要約筆記、車いす)を設置した。特にステージ発表では、障害のある人もない人も分け隔てなく積極的な交流が行われた。		

### ウ 協議結果・実施結果

- 1 広報紙「みんなのらいふ」を年3回発行し、本協議会の活動状況、前橋市における障害福祉の取り組みなどを発信した。作品を掲載するコーナー「みんなのアーツ」や、インタビュー記事「Myらいふ」などでは、障害のある方の活動を紹介することができた。また、便利グッズなど、広く情報発信をすることができた。
- 2 「みんなのフェスタ」について、今年度は開催場所を、前橋市総合福祉会館から前橋プラザ元気21に移して、無事開催することができた。

### エ 今後の課題・予定

- 1 今後も広報紙「みんなのらいふ」の継続発行を予定。親しんでいただける紙面にするため読者のニーズを把握し、よりよい記事を掲載する必要がある。
- 2 「みんなのフェスタ」については、昨年度よりも来場者数が少なかったため、集客方法の工夫が課題である。